

三菱電機グローバルIT基盤サービス “MELGIT”の構築と展開

米岡靖浩*
塚田高広*
中居大昭*

Implementation and Deployment of Mitsubishi Electric Global IT Platform Service "MELGIT"

Yasuhiro Yoneoka, Takahiro Tsukada, Hiroaki Nakai

要 旨

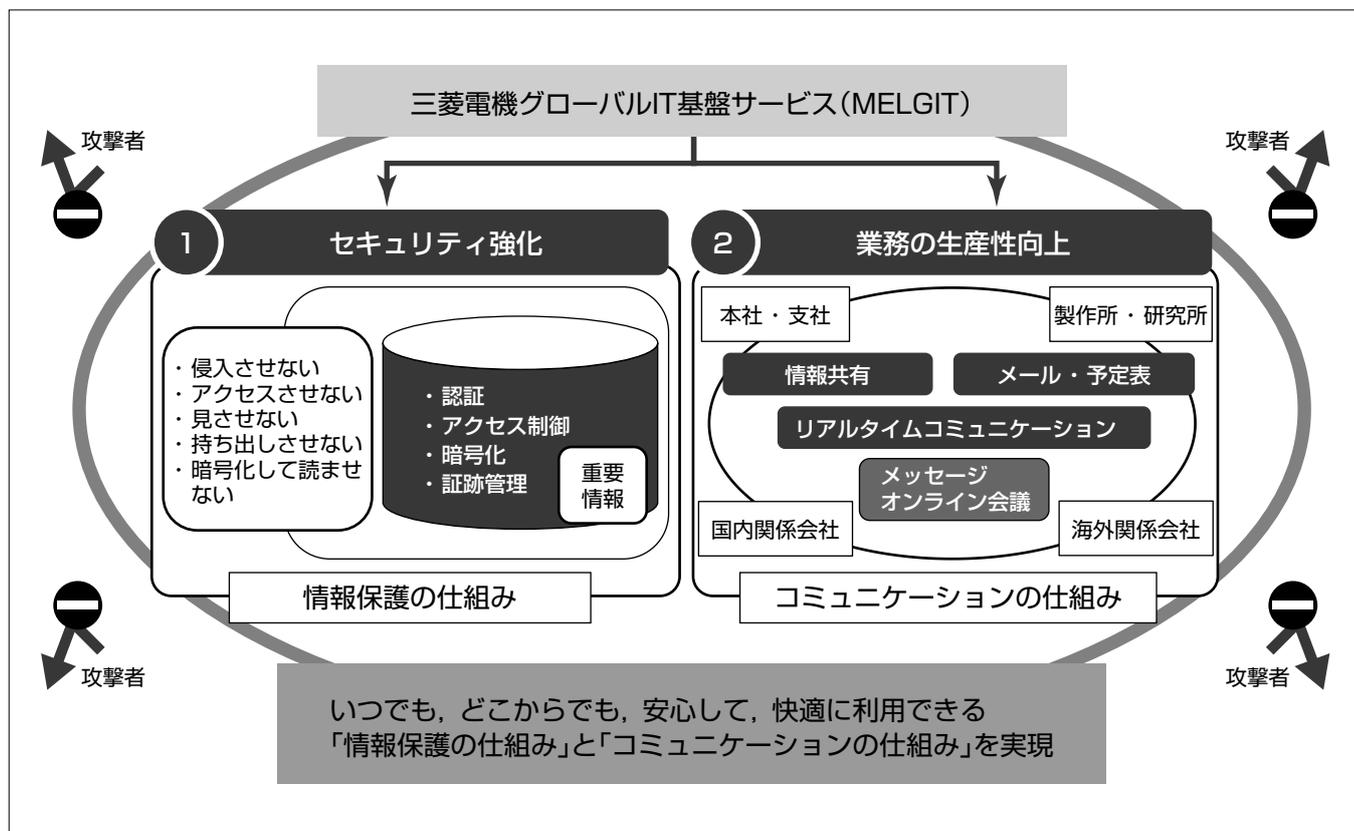
三菱電機グループは、持続可能性と安心・安全・快適性が両立する豊かな社会の実現に貢献する“グローバル環境先進企業”を目指すことで、グループ全体で持続的な成長を追求している。

そのためには、拠点を越えたスムーズなコミュニケーションを可能にするグローバルIT基盤サービスを更に強化していく必要がある。そこで、三菱電機では、グループ約15万人のIT環境として、日本マイクロソフト(株)の統合型情報共有クラウドサービス“Office 365(注1)”と当社独自のクラウド環境を統合した三菱電機グローバルIT基盤サービス“MELGIT(Mitsubishi ELectric Global IT platform service)”を構築し、2016年10月から国内外300拠点に順次導入している。これらのサービスによって、セキュリ

ティレベルをグローバルに統一・強化しつつ、拠点をまたがったコミュニケーションを可能にすることで、社員一人ひとりの業務の生産性向上を推進している。

MELGITは、2018年8月末時点で、国内を中心に220拠点、約10万人が利用しており、セキュリティ強化や業務の生産性向上に効果が出てきている。更に効果を出していくためには、海外も含めた展開・活用拡大、定着化が重要になる。そのため、海外展開は現地のIT部門だけではなく、MELGIT利用部門と事業活動でつながりの深い部門も巻き込んだ取組みを進めていく。これらの活動を継続し、当社グループのグローバル事業展開・競争力向上に貢献していく。

(注1) Office 365は、Microsoft Corp.の登録商標である。



三菱電機グローバルIT基盤サービス“MELGIT”構築の狙い

MELGITは、“セキュリティ強化”と“業務の生産性向上”を両立させ、“いつでも、どこからでも、安心して、快適に利用できる仕組み”を実現することで、社員の働きやすさを向上させる。そして、当社グループのグローバル事業展開・競争力向上に貢献する。

1. ま え が き

当社グループは、持続可能性と安心・安全・快適性が両立する豊かな社会の実現に貢献する“グローバル環境先進企業”を目指すことで、グループ全体で持続的な成長を追求している。

そのためには、拠点を越えたスムーズなコミュニケーションを可能にするグローバルIT基盤サービスを更に強化していく必要があり、当社グループ約15万人のIT環境を、日本マイクロソフト(株)のOffice 365と当社独自のクラウド環境を用いてMELGITを構築し、国内外300拠点に2016年10月から順次導入している。これらのサービスによって、セキュリティレベルをグローバルで統一・強化しつつ、拠点をまたがったコミュニケーションを可能にし、社員一人ひとりの業務の生産性向上を推進している。

本稿では、MELGITを構築する際の三つの強化点とこれらの構築と展開の取組みについて述べる。

2. 背景と狙い

グローバルIT基盤の更なる強化点として、“セキュリティの強化”“業務の生産性向上”“IT基盤提供の迅速化”の3点を取り上げて取り組んできた。これらの背景と狙いについて述べる。

2.1 セキュリティの強化

サイバー攻撃は、更に手口が高度化・巧妙化してきており、その対策も継続的に強化していく必要があったが、一部の拠点では独自にセキュリティ対策を実施しており、グループ全体として一定のセキュリティレベルを維持できていなかった。そこで、グループ全体でセキュリティ対策を統一し、セキュリティレベルの底上げを狙いとした。

2.2 業務の生産性向上

グローバルで拠点をまたがったコミュニケーションの重要性が増してきており、グローバル全体での生産性向上を強化していく必要があった。

しかし、図1に示すとおり、各拠点では、目的に応じて、それぞれ独自にメールや情報共有の仕組みを導入しており、

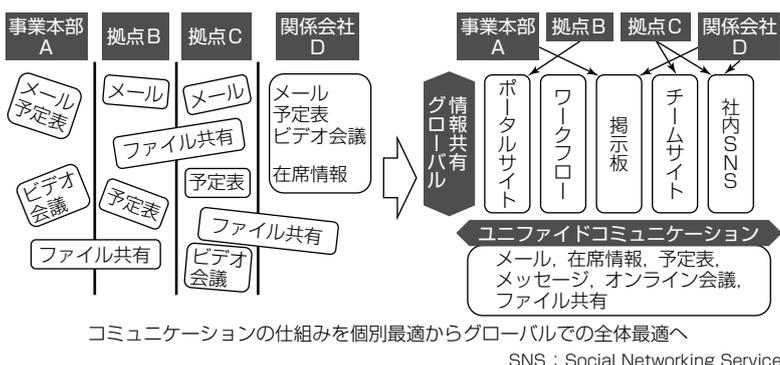


図1. コミュニケーションの課題と整備方針

部門をまたがったコミュニケーションが取りにくい状態であった。そこで、グループ全体でメールや情報共有の仕組みを標準化し、業務とコミュニケーションの効率化を狙いとした。

2.3 IT基盤提供の迅速化

成長目標の達成に向けて、海外拠点の増加や、経営統合・事業提携による再編が進んできており、それらの対応を強化していく必要があった。

しかし、海外に新設する拠点は少人数でスタートすることが多く、その場合、ITの専門家を配置できる余裕がない。そこで、新規拠点の早期展開をグローバルで実現できるように、グローバルIT基盤を標準化して、拠点展開の負荷低減と事業運営の効率化を狙いとした。

3. MELGIT

2章で述べた三つの強化点の要件を整理し、“いつでも、どこからでも、安心して、快適に利用できる仕組み”として、MELGITを構築した。MELGIT構築の主な要件とシステム構成、及びサービスについて述べる。

3.1 MELGIT構築の主な要件

3.1.1 セキュリティ強化

当社グループでの機密性が高い情報に対して、“侵入させない”“アクセスさせない”“見させない”“持ち出しさせない”“暗号化して読ませない”を実現する堅牢(けんろう)な情報保護の仕組みにする。また、顧客との契約条件や法規制による情報の社内保管にも対応できるようにする。

3.1.2 業務の生産性向上

当社グループ間だけでなく、取引先とも安心・安全・快適にコミュニケーションができるようにする。また、全社員が、利用マニュアルを見なくても使用できるような、直感的で分かりやすいインターフェースにする。

3.1.3 迅速性と拡張性

新規拠点設立時には、各種コミュニケーションツールがすぐに利用できるようにする。また、初期投資を抑えつつ、利用拠点の事業拡大に応じて、迅速・柔軟に使用拡張できるようにする。

3.2 MELGITのシステム構成

3.1節の要件を踏まえて、MELGITは、グローバルでの利用実績が豊富なOffice 365と、情報の社内保管等の当社独自要件を実現する当社独自のクラウド環境とを統合した“ハイブリッド構成”とした(図2)。これによって、サイバー攻撃への対策強化と、効率的で使いやすいコミュニケーション、情報伝達の仕組みを提供し、社員一人ひとりの業務の生産性向上を実現する。

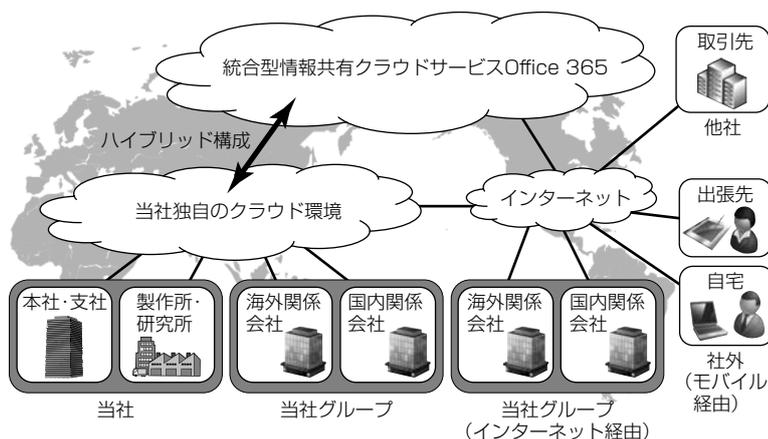
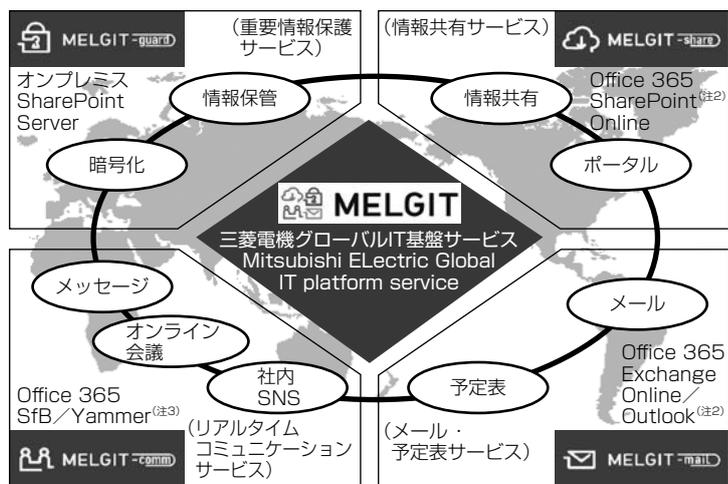


図2. MELGITのシステム構成



SfB : Skype^(注2) for Business

(注2) SharePoint, Outlook, Skypeは、Microsoft Corp.の登録商標である。
(注3) Yammerは、Yammer, Inc.の登録商標である。

図3. MELGITのサービス

3.3 MELGITのサービス

MELGITでは、次の四つのサービスを提供する(図3)。

3.3.1 重要情報保護サービス

重要情報保護サービスは、当社独自クラウド環境でSharePoint Serverを構築し、各拠点で機密性が高いと判断された情報を安全に保管する文書管理サービスである。セキュリティ強化の要件を満たすため、ファイルの暗号化機能を提供することで、万が一ファイルが外部に流出した場合でも閲覧できないようにしている。これによって、顧客との契約や、法規制による他社クラウドサービスへのデータ保管が難しい場合でも利用できる。

3.3.2 情報共有サービス

情報共有サービスは、Office 365のSharePoint Onlineを利用し、情報共有機能やポータル機能を提供するサービスである。インターネット回線があれば接続でき、新規拠点設立時や取引先との急な情報共有時に迅速に利用できる。また、急なディスク容量拡大の要望にも柔軟に対応できる。

3.3.3 メール・予定表サービス

メール・予定表サービスは、Office 365のサービスの

一つであるExchange Onlineの基本的な機能と、当社独自クラウド環境に構築したメールの添付ファイルの自動暗号化や監視、誤送信対策と連携することで、利便性向上とセキュリティ強化の両方を実現している。また、Exchange Onlineのオプション機能である証跡管理機能を利用することで、訴訟等による証拠開示請求があった場合でも迅速に対応できる。

3.3.4 リアルタイムコミュニケーションサービス

リアルタイムコミュニケーションサービスは、Office 365のサービスの一つであるSkype for Business Onlineを利用し、在席管理やインスタントメッセージ、オンライン会議等、双方向のコミュニケーション機能を提供するサービスである。ネットワークにつながっていれば、いつでもどこからでも、離れている相手と容易に会話や会議ができる。また、Office 365のサービスの一つであるYammerを利用した社内SNSも提供しており、当社グループ内の利用者同士が、ノウハウの共有やアイデアの創出などに利用できる。

4. 展開と利用拡大・定着化の取組み

MELGITを活用して、社員一人ひとりの業務の生産性を向上させるためには、MELGITの展開と利用拡大・定着化が重要であり、その取組みについて述べる。

4.1 展開の取組み

MELGITの展開に当たり、各拠点に利用希望調査を行い、拠点ごとの利用規模と利用開始時期を把握し、推進してきた。しかし、展開を短期間に、かつ確実にを行うには、既存システムからの移行にはMELGIT構築部門からの導入拠点への支援が重要である。具体的な取組みは次のとおりである。

4.1.1 移行支援

大半の拠点が既存システムからの移行となる。中でもメール・予定表サービスは、業務と密接に関わっており、極力業務への影響を避けるように慎重に移行計画を策定する必要がある。そこで、MELGITほか、移行拠点が使用しているメールや予定表などの関連技術に精通している専門要員を投入し、移行を支援している。これによって、拠点での既存システムの仕様や使用状況などを把握した上で、移行計画を策定でき、業務への影響を最小限に抑えている。

また、実際の移行で、移行作業や利用者教育を担当する導入拠点のIT部門の人的リソースが不足する場合もある。

そこで、メール・予定表やファイルサーバなどのデータ移行作業を請け負う専門チームを派遣し、移行を支援している。

4.1.2 利用者教育の実施

マニュアルや教育資料を整備し、展開するだけでなく、希望に応じて集合形式で教育するサービスも提供している。これによって、利用者がスムーズに利用開始できるようにしている。

4.2 活用拡大・定着化の取組み

MELGITの活用拡大・定着化に当たり、展開後も継続的な支援が重要である。具体的な取組みは次のとおりである。

4.2.1 情報公開用ポータルサイトの整備

活用シナリオに沿ったマニュアルや活用のヒント、機能について紹介した動画など、利用者向けの情報をまとめたポータルサイトを整備した。これによって、利用者自らが情報を入手し、活用シーンをイメージできるようにした。

4.2.2 活用支援の継続

遠隔地点とのWeb会議や他拠点との情報共有など、MELGITを活用したいという希望を持ちながら、何をしたらよいか分からずに困っている拠点も少なくない。このような拠点に対して、検討段階から参画し、実現方法や運用方法の策定を支援することで、拠点で早期に活用できるようにしている。

4.2.3 事例の横展開

当社グループ内で、MELGITを業務にうまく活用している拠点から、①導入の狙い、②利用シナリオ、③実現までのプロセス、④導入効果などをヒアリングし、事例資料としてまとめ、「情報公開用ポータルサイト」や社内報等を通して、事例を横展開している。図4にMELGIT活用事例資料のイメージを示す。これによって、他拠点の活用事例を取り込めるようになる。

4.2.4 情報交換コミュニティの立ち上げ

利用者同士が直接情報交換できる場として、MELGIT

の情報共有機能を活用したコミュニティを立ち上げた。これによって、利用者からの問合せを拠点や関係会社のIT部門が順次対応するだけでなく、既に活用している他の利用者の助言によって早期解決できるようになった。また、利用者から積極的な情報発信が増えており、活用促進に寄与している。

4.2.5 拠点との意見交換会の定期開催

MELGITを活用中の拠点と意見交換会を定期開催し、他拠点の活用事例の紹介や、拠点が抱える問題・要望などの相談の場を設けている。これによって、拠点での活用拡大・定着化を支援している。また、改善が必要な内容をMELGITの保守開発チームに提供し、改善活動に生かしている。

5. 導入効果

MELGITの導入による主な効果について述べる。

5.1 セキュリティ強化

統一・強化されたセキュリティ対策を導入・展開したことで、セキュリティレベルが底上げされ、MELGIT導入後もサイバー攻撃などによる、顧客・機密情報漏えいなど事業への影響が大きいセキュリティ事故ゼロを継続している。

5.2 業務の生産性向上

拠点で独自に導入したコミュニケーションツールから、拠点をまたがってコミュニケーションできる仕組みに変わり、拠点間の業務がやりやすくなった。

例えば、「従来、個別に管理していたメールの添付資料の管理から解放された」「互いに違う版の資料を見ていて、コミュニケーションがうまくいかないという事態が改善された」「現地に出張することなく、オンライン会議でリアルタイムにコミュニケーションが取れるようになり、確認や意思決定が速くなった」「移動時間を他業務に活用できるようになった」などの効果が出ている。

6. むすび

MELGITは、2018年8月末時点で国内を中心に220拠点、約10万人が利用しており、成長目標の達成をITの側面から支える重要な仕組みである。既にMELGITを導入した拠点ではセキュリティリスクが低減し、組織をまたがったコミュニケーションが活発に行われるようになり、導入効果が実感されてきている。

当社グループの更なる発展のためには、イノベーションの創出や、働き方改革の実現が必要不可欠であり、それを後押しするMELGITに対する期待は、日増しに高まっている。今後も継続して展開・活用支援を行い、当社グループのグローバル事業展開・競争力向上に貢献していく。

活用事例：重要会議のペーパーレス化・オンライン化を実現(2017/4～)

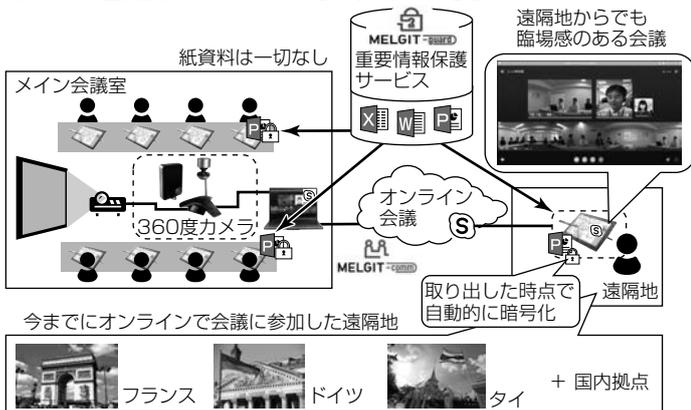


図4. MELGIT活用事例資料のイメージ